

多文化インターンシップ (3・4年次)

—中国でのインターンシップ—

「現場一線で働く責任感と信頼関係を築くことの重要性」

大塚 美香子 (OTSUKA Mikako)



<研修期間>

2017年8月28日～8月31日

<企業名(業種)>

花陽貿易株式会社(専門商社)

<業務内容>

専門知識の習得、取引先への営業同行、
翻訳、資料整理など

<新たに気が付いたこと>

商談に同行した際、中国のクライアントと日本のメーカーの仲介役としてそれぞれの要望にしっかりと耳を傾け、まとめている社員の姿を見て「現場一線で働く責任感」を強く認識することができた。中国語と日本語が飛び交う社内で4日間を過ごし、語学ができることは当たり前で、その語学力を使って取引相手や仲間との信頼関係を築くことが重要だと実感した。

「●●●●」

林 夏玉 (LIN XiaYu)



<研修期間>

2017年8月28日～8月31日

<企業名(業種)>

日中平和観光上海事務所(旅行代理業)

<業務内容>

ホテル(新錦江大酒店)周辺のレストラン
マップ作成、大世界(観光施設)の訪問レ
ポート作成

<新たに気が付いたこと>

今回のインターンシップを通じ、旅行社はホテル、航空とお客様とをつなぐ重要かつ難度の高い業務を担っていることを理解できました。また観光マップ、訪問レポート作成では、自分達ではなくお客様目線で考えることの難しさが判るなど、今回のインターンシップにより、観察力、傾聴力、想像力が鍛えられました。

「お客様目線で考えることの大切さ」

佐藤 桃 (SATO Momo)



<研修期間>

2017年8月28日～8月31日

<企業名(業種)>

日中平和観光上海事務所(旅行代理業)

<業務内容>

日本人観光客を対象としたホテル(新錦江大酒店)周辺のレストランマップ作成、「大世界」観光のモデルプラン作成、ホテル訪問(上海巴黎春天新世紀酒店)

<新たに気が付いたこと>

このインターンシップでの主な業務は、マップ作成と観光プランの作成でした。日本から上海に訪れた日本人観光客向けに作成しなければならないため、より楽しんでいただくにはどういった情報を載せるべきかをお客様目線で考えることが大切であるということ学びました。

「●●●●」

伊藤 ほのか (ITO Honoka)



<研修期間>

2017年8月28日～8月31日

<企業名(業種)>

日中平和観光上海事務所(旅行代理業)

<業務内容>

日本人観光客を対象としたホテル周辺の
レストランマップ作成、「大世界」観光の
モデルプラン作成

<新たに気が付いたこと>

日中平和観光の事務所は新錦江大酒店の中にあり、ホテルの見学もさせて頂いたため、旅行会社とホテルの両方を学ぶことが出来ました。マップ作りでは、観光客が何を求めているかを考え、必要な情報をいかに分かりやすく表現するかが重要であると気づきました。短い期間でしたが、海外で働くことの魅力を肌で感じる事が出来ました。

「●●●●」

栄留 禾織 (EIDOME Kaori)



<研修期間>

2017年8月29日～31日

<企業名(業種)>

横浜企業支援財団上海事務所

(企業支援等)

<業務内容>

企業ヒアリング、中国のビジネス習慣に
ついてのレポート作成

<新たに気が付いたこと>

ニーズの異なる外国市場でのマーケティングに日系企業の方々が奮闘する姿を見て、ビジネス習慣の違いやその国の文化、国民の風習について知っておくことは、ビジネスにおいて必要不可欠だと感じた。同時に今日の中国では日本食の需要が大変大きく、日本食は高付加価値商品となっていることが判った。

「日本のものを上海で広げるために」

坂井 彩菜 (SAKAI Ayana)



<研修期間>

2017年8月29日～31日

<企業名(業種)>

横浜企業支援財団上海事務所
(企業支援等)

<業務内容>

企業ヒアリング、中国のビジネス習慣についてのレポート作成

<新たに気が付いたこと>

私は上海で展開している日本の食品メーカーやレストランに訪問し、どのように日本の商品を広げているのか直接お話を聞くことができました。日本とは違うお客様のニーズ、マーケティングなどを知ることができて刺激的なお話でした。海外で働くこと、何かを売ることについて実際に感じて学ぶことができました。

「中国のビジネス習慣について学ぶ」

中西 智子 (NAKANISHI Tomoko)



<研修期間>

2017年8月29日～31日

<企業名(業種)>

横浜企業支援財団上海事務所 (企業支援等)

<業務内容>

企業ヒアリング、中国のビジネス習慣についてのレポート作成

<新たに気が付いたこと>

上海で実際に働く中国人、日本人の方々にお話を伺い、中国と日本ではビジネス習慣に大きな違いがあること、それに伴うビジネス摩擦が起こりうることについて学んだ。日本では、任された仕事をコツコツと行う能力が求められているが、中国では、自分から積極的に挑戦するチャレンジ精神が求められていると感じた。